



進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

第2部 熊谷のまちなかでの新たな取組み

南北軸

これからの市役所通りのまちづくり

南北軸2：中央公園におけるにぎわいの創出

～大型パラソル・テーブルベンチの設置～

令和7年度

イベント主催者や公園利用者等の声を聞き、シンボリックな大型パラソルとテーブルベンチを設置



R6年度

「ものづくり大学から寄付によりテーブルテントをセット設置



【南北軸2】

また、イベント主催者や公園利用者の声を聞き、快適な滞在空間を創出するため、自然を生かした日かげ空間の確保だけでなく、昨年度はものづくり大学から寄附いただいたテーブルベンチ等を設置、今年度は大型パラソル、テーブルベンチを設置しました。このことにより、キッチンカーとも一体感のある空間ができ、利便性も向上しました。

今後も官民一体となって交流・滞在空間の創出の取組を進めてまいります。

南北軸3：中央公園におけるにぎわいの創出 ～ハッピーパークマーケット～



【南北軸3】

令和6年7月から中央公園で始まったハッピーパークマーケット、通称はぴま、こちらは8月を除き、4月～12月の毎月第一土曜に実施しています。はぴまのシンボルといえば、この大型滑り台です。小さな子供たちの歓声が聞こえてきます

キッチンカーや物販が約15店舗、他に主催者によりますスタンプラリーの塗り絵コンテストや、シャボン玉イベント、噴水付近ではラバーダックレースなどが開催されて、多くの親子連れでにぎわっています。

9月～10月には、身長制限はありますが、公園内で電動モビリティの乗車体験も提供する予定となっています。

南北軸4：中央公園におけるにぎわいの創出

～ハッピーパークマーケット 市役所通～



コミュニティ広場からの市役所通西側にパラソル付きの椅子を設置



【南北軸4】

はぴまでは、駐車場として、コミュニティ広場と合わせて、本年9月から市役所本庁舎駐車場も開放する予定です。また、この2つの駐車場の間にある市役所通りの西側についても、快適さを増して訪問者（通行量）や滞在時間を増やし、地域の活力や魅力につなげる工夫で、ウォーカブルのまちづくりのための社会実験の一環として取り組んでいます。

市役所通りには、はぴま開催主体の熊谷まちなか再生エリアプラットフォームの皆さんが、仮設のパラソル付きの椅子とテーブルを設置しています。お店の前にパラソルを設置することで、商品を購入いただきパラソルの下で時間を過ごしていただく。また、はぴま会場で購入したものもそこで召し上がっていただく等、まちなかの賑わい創出に一役買っています。

新しい景色がだんだん広がっています。

以上が、まちなかで見ることができる公民連携の取組となります。

南北軸5：熊谷市荒川かわまちづくり

参考 かわまちづくり支援制度の概要

国土交通省

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和6年度末時点:286地区)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(蓮根川/大田市)

オープンカフェの設置
(荒川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(横瀬川/新潟市)

賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(葛上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/豊島市)

市役所通線から接続する荒川での公民連携事例として、かわまちづくり支援制度について、ご説明させていただきます。

かわまちづくり支援制度は、市町村、民間事業者および地元住民と河川管理者の連携のもと、河川空間とまち空間が融合した空間形成を目指すもので、ソフト施策とハード施策に支援が受けられ、令和7年8月1日末時点で、全国303か所のかわまちづくり計画の登録があります。

熊谷市荒川かわまちづくり計画は、令和7年5月末に「熊谷市荒川かわまちづくり協議会」での審議を経て、計画書がまとまり、6月4日に国土交通省の「かわまちづくり支援制度」への登録申請を行い、令和7年8月1日に登録されました。

南北軸6：熊谷市荒川かわまちづくり

✓ かわまちづくり

地域の「資源」や「知恵」を活かし

民間事業者及び地元住民、市、河川管理者、専門家等の連携のもと

地域の「顔」、「誇り」となるような空間形成を目指す取組み



ハード
(水辺の空間づくり)



ソフト
(地域の活動の展開)



利用
(市民の楽しい・新しい交流)



こうした空間形成に重要な視点

- 計画段階から市民参加による計画づくり
- 地域の実情や関心に応じた参加の場をつくること

かわまちづくり計画を策定するにあたり、地域の「資源」や「知恵」を活かし、民間事業者及び地元住民、市、河川管理者、専門家等の連携のもと、地域の「顔」、「誇り」となるような空間形成を目指し、ハード面では水辺の空間づくり、ソフト面では地域の活動の展開、利用面として市民の楽しい・新しい交流の場とし、空間形成に重要な視点として、「計画段階から市民参加による計画づくり」「地域の実情や関心に応じた参加の場をつくること」を掲げました。

南北軸7：熊谷市荒川かわまちづくり

✓ 基本方針（コンセプト、計画範囲）

地域と共創、地域の安全安心への寄与のもと
荒川の豊かな自然環境の保全と継承に配慮し
スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを
通じた新たな交流が生まれることによる

- 水辺空間の日常利用の充実
- 熊谷らしさや人とのつながりを感じる空間
- まちへの愛着の醸成、定住促進を目指す



図1. 計画範囲



地域防災活動利用
(災害の自分事化)



スポーツ・健康づくり・地域交流利用

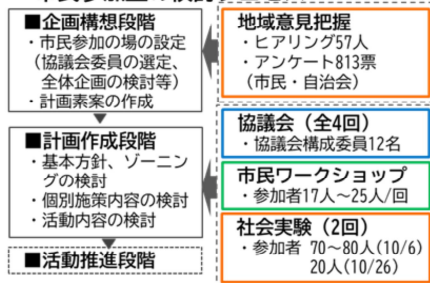


自然との触れ合い・自然学習利用

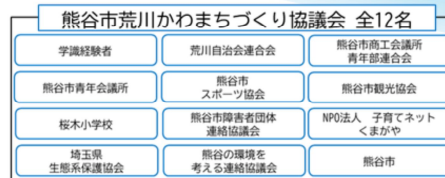
熊谷市荒川かわまちづくり計画の基本方針（コンセプト、計画範囲）は、地域と共創、地域の安全安心への寄与のもと、荒川の豊かな自然環境の保全と継承に配慮し、スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを通じた新たな交流が生まれることによる、「水辺空間の日常利用の充実」「熊谷らしさや人とのつながりを感じる空間」「まちへの愛着の醸成、定住促進を目指す」ことをコンセプトとしています。

南北軸8：熊谷市荒川かわまちづくり 公民連携の計画づくりの取組紹介

✓ 市民参加型の検討プロセス

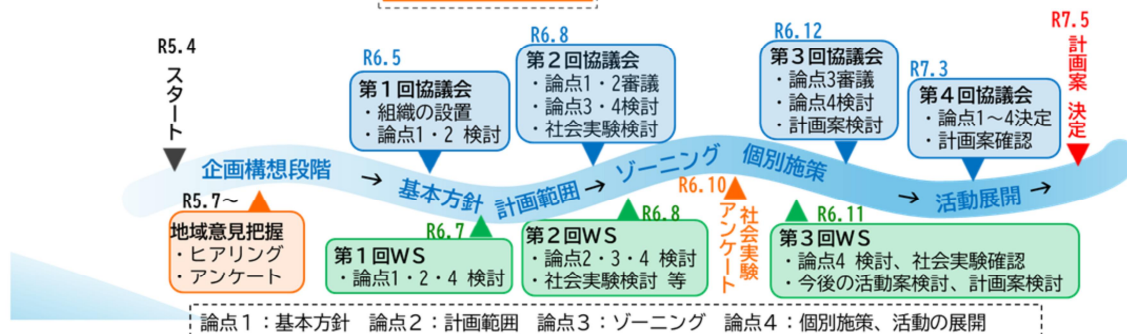


✓ 検討体制



市民ワークショップ

- 第1回 25名、第2回 25名、第3回 17名 一般公募
- 年齢構成（20～30代：15%、40～60代：54%、70代以上：31%）



つづきまして、公民連携の計画づくりの取組を紹介します。

市民参加型の検討プロセスとして、企画構想段階では、地域意見把握を行うため、対象エリアの利用状況、かわまちづくりへの希望や期待、地域の課題など、商工産業団体、観光振興団体、スポーツ振興団体、河川敷を利用している団体、学校、福祉・子育て団体、環境団体、地元の団体など18団体にヒアリング調査を行いました。

また、併せて市内在住の方を対象としたWebアンケート、計画地である熊谷荒川緑地に近接している6自治会、827世帯を対象にアンケート調査を実施し、WEBアンケートでは、市内全域から400件、地元アンケートでは413件（49.9%）の回答を得ました。

さらには、具体的な手法について検討することを目的に、「熊谷市荒川かわまちづくり協議会」を設立し、学識経験者として、河川工学の専門である埼玉大学大学院理工学研究科の田中教授を始め、地域を代表する者として、荒川自治会連合会会長や商工産業、スポーツ振興、観光振興、教育、福祉子育て、環境部門の各団体の代表者の方たち12名で組織しました。

協議会では、主な議題として基本方針、計画範囲、ゾーン設置と主要機能の配置、活動の展開などを協議し、全4回開催しました。

南北軸9：熊谷市荒川かわまちづくり 公民連携の計画づくりの取組紹介

✓ 熊谷市荒川かわまちづくりワークショップの概要

【第1回ワークショップ R6.7.6 25名】

かわまちづくり計画の骨格となる基本方針や計画範囲、活動・活用アイデアに関し、ポストイットに意見を記入したり、意見を記入した旗を平面図に立てたりして、意見を出し合いました。



その後、第2回協議会の審議を経て、**ワークショップ意見が盛り込まれた基本方針がまとまりました。**

【第2回ワークショップ R6.8.31 25名】

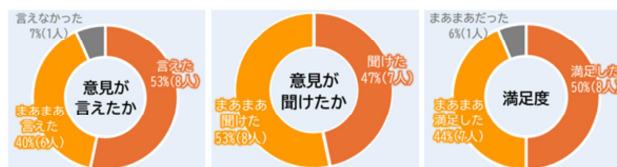
第1回ワークショップ意見及び第2回協議会意見を踏まえ、計画エリア内のゾーン設定や整備メニューなどを具体化したかわまちづくり計画(案)について、**賛成・懸念等の意見を出し合いました。**参加者がテーブルを移動して対話を行うワールドカフェ形式で意見交換を行い、**参加者意見の相互理解を深めました。**



写真 ワークショップ状況

✓ ワークショップ全体の満足度を伺いました

参加者の**90%以上**の方がワークショップに満足頂けました。



また、かわまちづくりに対する要望・意見の収集や当事業に対する地域の主体的な参加意欲の向上を図るため、広く市民の意見を反映させることを目的に、公募により集まっていた市民の方に意見を聞くワークショップも開催しました。ワークショップは、これまでに3回開催し、毎回、約20人の市民の方に参加していただきました。ワークショップ意見が盛り込まれた基本方針を協議会で審議し、計画書が策定されました。

参加者にワークショップ全体の満足度を確認したところ、90%以上の方がワークショップに満足頂けたと回答いただいております。

 進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

[illegible][illegible]

日曜日の午前10時から午後3時まで開催し、当日、あまり天気が良くない状況でしたが約70人の方に参加いただきました。

南北軸11：熊谷市荒川かわまちづくり 公民連携の計画づくりの取組紹介



✓ 社会実験の概要(R6.10.26 荒川自然観察会(近隣の小学校連携))

荒川自然観察会 報告

【日】 10月26日(土) 13時～15時 【会 場】 熊谷荒川緑地 河川敷
【期 望】 自然観察会 【参加人数】 小学生5人、保護者7人、その他(見学) 7人

実施概要：
荒川水辺の新たな利活用の試みとして、熊谷市と桜木小学校がコラボし、荒川の豊かな自然環境を体験し学ぶことを目的とする自然観察会を開催しました。
荒川水辺上流の浅瀬やワンドを活用し、事前に応募頂いた親子(児童・保護者)を対象に、専門家による詳しい生き物解説のもと、水辺の生き物探しや、生き物を用いた水質調査なども体験して頂きました。
また、子どもたちの安全な利用のため、楽しみながら学習の安全教室や、水辺への安全なアクセス路の試行を行いました。

学習メニュー
1.楽しみながら学習の安全教室
2.荒川に生息する生き物探し体験と専門家による生き物解説
3.生き物による水質調査
4.バックテストを用いた水質検査
5.アンケート

実施内容：
●生き物探し体験
網を使って、浅瀬とワンドの2箇所で生き物探しを行いました。水生昆虫や底生生物、魚の卵を見つけて頂きました。
●生き物を用いた水質調査
生き物の生息数と数で水質を調べました。
●バックテストを用いた水質検査
生き物を用いた水質調査の結果とバックテストを用いた水質検査の結果を比べてみました。

アンケート(参加した感想(一部のご紹介))
【参加児童】参加児童全員から「楽しかった」の感想を頂きました！
・さかなをつかまえたから。／いろいろな生きものがいたから。
・たくさん魚や水の虫がとれたから。
・いきものにあえてよかった。もういちどきたい。
【参加保護者】「良かった点」のご意見をたくさん頂きました！
・いろいろな場所でききものを探せて良い経験になりました。
・安全対策が万全でありがたかった。川や生き物のことをたくさん教えて頂いて勉強になりました。どれも楽しかったです。
・川に住んでいるいきものによって水のきれいさがわかることが勉強になりました。

【お問い合わせ】 熊谷市建設部河川課(電話：524-1111 FAX：524-525-6678)

2回目の社会実験は「荒川自然観察会」を開催しました。事前に応募して頂いた小学生親子に集ってもらい、実際に荒川の浅瀬に入り、水辺の生き物探しや荒川の水質を試薬により調査するなどの体験していただき、参加した児童全員から「楽しかった」との感想を頂きました。

今年度は、桜木小学校5年生を対象とした授業の一環として、荒川自然観察会を開催する予定です。

荒川の豊かな自然環境を次世代へ伝えていく取り組みは今後も継続していきたいと考えています。

南北軸12：熊谷市荒川かわまちづくり 公民連携の計画づくりの取組紹介

✓ 参加者、市民への情報発信

① 熊谷市ウェブサイトでの情報発信



② ワークショップニュースレターの発行 (第1回号、第2回号、第3回号)



③ 社会実験におけるパネル展示

・熊谷市荒川かわまちづくり計画検討内容のご紹介
かわまちづくり計画基本方針や市民ワークショップ
の検討状況、市民アンケート調査結果をまとめて紹介



このような取り組みは、参加者や市民への情報発信として、①熊谷市ウェブサイトでの情報発信 ②ワークショップニュースレターの発行（第1回号、第2回号、第3回号）にて行うとともに、社会実験時には、パネル展示を行うことで、かわまちづくり計画について広く周知を行っております。

南北軸13：熊谷市荒川かわまちづくり まとめと今後の展望

➤ 熊谷市荒川かわまちづくり計画案（拠点整備計画案 イメージ図）

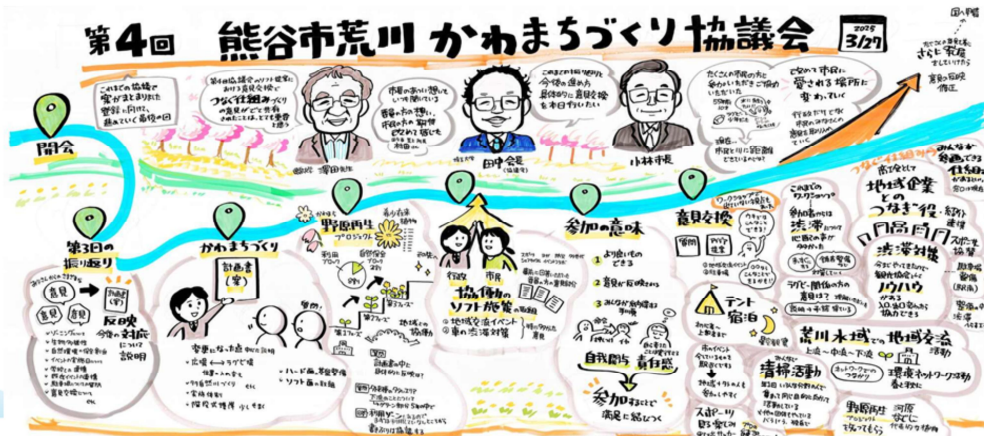
全体鳥瞰図



最後に、かわまちづくり計画拠点整備と今後の予定について説明いたします。
「熊谷市荒川かわまちづくり計画案」では、積み上げてきた意見等を反映し、国施工分として、河川構造物（車両用の坂路の拡幅を含む整備、バリアフリースロープによる坂路、観覧席兼用の階段護岸、水辺に近づくための親水護岸）が整備予定であり、その他市施工分として、ベンチなどの休憩施設、水辺の散策路、また、自然環境学習の環境整備として、荒川大橋の上流側の浅瀬に行くための散策路などの整備を計画しています。

南北軸14：熊谷市荒川かわまちづくり まとめと今後の展望

- 計画段階における市民参加型検討プロセスの適用により
→ 市民や地域団体等の意見が広く反映され、より良いかわまちづくり計画を立案
→ かわまちづくり計画の今後の活動展開に繋がっていくことが期待される
- 複雑化、多様化する地域課題の解決やSDGs 目標達成のため、本事業により得た知見を活かし、行政と民間企業、学術機関が協働で、それぞれの強みを活かした公民連携のまちづくりを推進していく。



まとめ

熊谷市荒川かわまちづくり計画では、計画段階における市民参加型プロセスの適用により、市民や地域団体等の意見が広く反映され、より良いかわまちづくり計画を立案でき、かわまちづくり計画の今後の活動展開に繋がっていくことが期待されます。

複雑化、多様化する地域課題の解決やSDGs 目標達成のため、本事業により得た知見を活かし、行政と民間企業、学術機関が協働で、それぞれの強みを活かした公民連携のまちづくりを推進していきたいと考えます。

説明は以上です。